

伊方町農業支援センターだより

Farmer's Communication Magazine For IKATA Member's

気象災害に強い産地づくりで トップブランド維持へ

西宇和農業協同組合代表理事理事長
伊方町農業支援センター運営協議会会長

きのした
木下

ちか
親



盛夏の候、農家の皆様におかれましては、農作業等でご多忙な毎日をお過ごしのことと推察いたします。

さて、昨年度のミカン販売は、気象災害による2年連続の出荷量減少で目標販売高153億円を下回りましたが、西宇和産のブランドをかけた厳選出荷・計画出荷で臨んだ結果、キロ単価294円（前年比111%）、受託販売取扱高151億円の実績となりました。偏に、皆様の生産努力と厳選出荷へのご理解の賜であり、深く感謝申し上げます。

JAでは、もはや異常気象とは言えなくなった「温暖化」に対する品種選択・土づくり・根づくりといった栽培方法の原点を再確認し、気象災害に強い産地づくりを目指して生産指導に取り組んでいるところです。

昨年は、農業・JA環境にとっても大きな転換期となりました。改正農協法が成立し、反対運動を展開していたTPPは大筋合意となり、農水分野では影響試算・関連政策の検討・予算措置がとられています。

このような大変革・大転換の時代において、JAでは3つの基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産

の拡大」「地域の活性化」の実現に向け、施策の見直しや具体的実現を目指しています。

特に日本の柑橘トップブランド産地として①担い手づくり、②農作業支援、③園地保全の更なる強化・充実を図っているところです。

その取組みの中で、労働力確保を産地の最優先課題と位置づけ、昨年11月に「みかんの里宿舎“マンダリン”」を旧舌田小学校跡でスタートさせました。1年目の受入実績は、作業員・アルバイト 30名（利用農家28件）でした。現在は更なる改装を計画し、今年からは70名余りの受け入れが可能となっており、「労働力確保」への一歩を着実に踏み出しています。

JAでは、将来の西宇和産地のあるべき姿を描きながら、これまで以上に行政はじめ関係機関と連携し、農業支援、優良園地保全対策を進め、日本一の柑橘産地の維持・成長に務めてまいります。

今後とも、JAにしようわと伊方町農業支援センターの活動・運営に対する、皆様の変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

1. ごあいさつ 西宇和農協理事長・支援センター運営協議会長 木下 親 氏
2. 平成28年度伊方町支援センター役員・スタッフと担当業務紹介
3. 青年農業者協議会、認定農業者協議会総会・役員紹介
4. 農地中間管理機構を活用しましょう！
5. 平成27年度実施事業
6. 農業制度資金と伊方町ニューフェース紹介
7. 集落活動による優良園地の確保、担い手の育成 ～みんなで考えましょう！～ 西宇和みかん支援隊
8. 1ターン就農者受入れフロー

伊方町農業支援センター

(JAにしようわ営農管理センター内)



No.16

企画発行／伊方町地域担い手育成総合支援協議会（伊方町農業支援センター内）

〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1993-2

JAにしようわ伊方支店 営農管理センター内

TEL(0894)38-0311 FAX(0894)38-1063

◆瀬戸・三崎地区の受付窓口◆

瀬戸支所地域住民室 TEL(0894)52-0113

三崎支所地域住民室 TEL(0894)54-1116

伊方町農業支援センター役員・スタッフ・業務内容紹介

運営協議会役員

役職	氏名	所属・役職
会長	木下 親	J A にしうわ代表理事理事長
副会長	山下 和彦	伊方町長
	川田 邦男	伊方町農業委員会会長
	増川 榮男	愛媛県農業共済組合総代
	山本 睦夫	伊方町土地改良区理事長
	井上 善一	瀬戸町土地改良区理事長
	山下 茂	三崎町土地改良区理事長
	上田 治由	愛媛県南予地方局産業経済部 八幡浜支局地域農業室長



職員 スタッフ

役職	氏名	所属
所長	井上 藤人	J A にしうわ
室長	大野 信幸	伊方町役場
主任	山内 清秀	伊方町役場
事務補助員	森 美季	伊方町役場
営農指導課課長	井上 藤人	J A にしうわ
営農指導員	西川 吾一	J A にしうわ
生活指導員	山下 栄子	J A にしうわ
営農指導課	松平 満	J A にしうわ



関連窓口 スタッフ

所属・役職	氏名	所属
伊方町農業委員会事務局 局長	井上 憲佳	伊方町役場
伊方町農業委員会 主任	伊井喜美栄	伊方町役場
瀬戸総合支所 地域住民室 主事	松本 勇太	伊方町役場
三崎総合支所 地域住民室 室長	竹内 元昭	伊方町役場
地域農業室 主幹	大塚 千浪	愛媛県八幡浜支局
地域農業室 担当係 室長	兵頭 強	愛媛県八幡浜支局
地域農業室 専門 員	二宮 福雄	愛媛県八幡浜支局
町見事業所 営農指導 員	佐々木穂高	J A にしうわ
瀬戸出張所 営農指導 員	谷本 洸太	J A にしうわ
三崎出張所 営農指導 員	後藤 和久	J A にしうわ

私たちは、こんな業務をしています

- 地域営農に関すること (役場) 中山間地域対策事業、農業担い手支援、農業振興対策推進等に関すること。
- 地域支援に関すること (役場) 補助事業相談指導、鳥獣害対策に関すること。
- 農業委員会に関すること (役場) 農地法に基づく業務、農業経営基盤強化促進法に基づく業務、農業者年金に関すること。
- 土地改良区に関すること (役場) 土地改良区の運営に関する業務、土地改良区事務。
- 営農指導課 (J A) 営農指導、補助事業、無料職業紹介、農地流動化、青壮年同志会事務局、女性部事務局、税務指導、農業者年金、労働災害保険、農作業支援、南予用水、伊方町共同防除組合事務局。

「青年農業者協議会」「認定農業者協議会」総会・役員紹介

伊方町青年農業者協議会は5月13日、平成27年度総会を開き、新年度事業計画を決めました。今年度も、経営改善を図るための研修会の開催と各支部活動でのプロジェクト活動、八西地区青年農業者協議会で実施している出前事業への参加等に取り組みます。

昨年度取り組んだプロジェクト活動は、伊方支部は「大学生との協働による援農の実践と検証」と題し、大学生のモデル農家での農作業支援や松山大学祭でのみかんPR活動、大学学食でのみかん1個販売に取り組みました。三崎支部は、「ハートどっきゅん作戦」と題し、清見の認知度を上げるためにハート型の清見製作に取り組みました。

今年度の会員数は、28名。新規会員は、高月大さん。(川永田)1名です。若い力を農業と町の活性化のために活かしていきます。

※ 40歳未満の農業者で構成している会ですので加入希望者の方は役員または事務局(農業支援センター)までご連絡ください。



水本 文教 会長



小西 寿治 副会長

平成28年度 青年農業者協議会役員

役 職	氏 名	地 域
会 長	水 本 文 教	大 浜
副 会 長	小 西 寿 治	二名津
会 計	井 村 大 貴	九 町
理 事	米 田 幸 弘	大 浜
理 事	浅 野 貴 光	平 磯
監 事	眞 田 稜 太	三 崎
監 事	高 月 芳 人	川永田

伊方町認定農業者協議会は5月24日、平成27年度総会を開き、新年度事業計画を決めました。



杉山 村夫 会長



森元 修治 副会長

平成28年度 認定農業者協議会役員

役 職	氏 名	地 域
会 長	杉 山 村 夫	三 崎
副 会 長	森 元 修 治	九 町
会 計	濱 松 爲 俊	大 久
監 事	上 甲 覚	中之浜
監 事	加 藤 安 道	川永田
理 事	矢 野 道 政	大 浜
理 事	土 居 敏 矢	中之浜
理 事	福 田 榮 次 郎	川永田
理 事	米 田 慎 一 郎	大 江
理 事	宇 都 宮 幹 吾	松

人・農地プランの
話合いで活用!

人と農地の問題解決に向け

農地中間管理機構 を活用しましょう!

農地中間管理機構は「信頼できる農地の中間的受け皿」です。地域内の分散した農地利用を整理し担い手ごとに集約化し、まとまりのある形で農地を利用できるよう配慮して、貸付けします。

機構はこんな仕組みです

公的機関だから
安心して貸せます。



貸付け

えひめ農林漁業
振興機構
(愛媛県庁内)

貸付け
(転貸)

農地を
借りたい人

機構に貸し付けた人の中で、要件を満たした場合に協力金が支払われます。

まとまった使いやすい農地が借りられます。

こんな使い方ができます

リタイアするので農地を貸したいな! と思ったら…

機構に農地を貸して下さい。
お借りした農地は機構が担い手に転貸します。

利用権を交換して分散した農地をまとめたいな! と思ったら…

関係者がそろって機構に農地を貸して下さい。
機構が担い手の使いやすい形にまとめて転貸します。

新規就農するので農地を借りたいな! と思ったら…

機構から農地を借りられます。



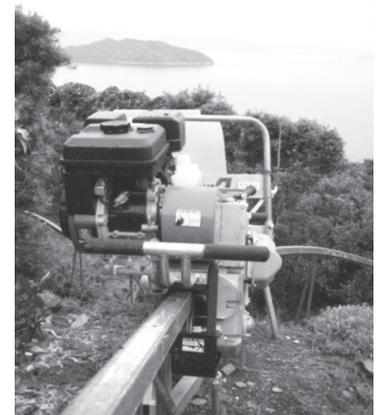
地域ぐるみで活用しましょう

○「人・農地プラン」の話合いの中で機構を活用して、地域内の農地利用の再編を進めましょう!

「海と山の恵みを生かし、ゆとりある暮らしのできるまち」を目指して 町は、平成27年度に次のことを支援しました。

農業関係

事業種目	内 容	経 費 (千円)			計
		国県費	町 費	受益者 ほか	
園内道整備	65m (コンクリート舗装)	177	66	111	354
用水灌水施設整備	1,094㎡ 簡易スプリンクラー	469	173	296	938
モノレール整備	動力車40台、レール4,473mほか	26,307	12,408	18,160	56,875
タイバック購入補助	マルチ (ソフト、ハード) 163本 (1~3m)		760	2,111	2,871
土地改良区維持修繕	各ブロックへの修繕費補助		1,382	1,592	2,974
青年就農給付金	新規就農者に対する国事業 7名	7,500			7,500
新規就業者支援対策事業	新規就農者に対する町単独事業 6名		1,950		1,950
担い手育成支援事業	青年農業者、認定農業者の各協議会等に対する補助		1,246		1,246
中山間地域等直接支払交付金事業	29集落協定 1 個別協定	53,173	17,724		70,897
多面的機能支払交付金	16環境保全協議会	13,769	4,247		18,016
鳥獣害防止対策事業	鉄筋柵4,710枚 電気柵9台	1,984	725	900	3,609
鳥獣被害防止捕獲活動支援	イノシシ捕獲補助 成獣159頭、幼獣47頭	1,319			1,319
鳥獣被害防止捕獲事業	イノシシ捕獲補助等		5,000		5,000



農業制度資金

融資制度	ご利用いただける方	融資限度額	融資期間 (うち据置期間)
スーパーL資金	認定農業者	【個人】3億円(特認6億円) 【法人】10億円(特認20億円)	25年以内 (10年以内)
青年等就農資金	認定新規就農者	3,700万円(特認1億円)	12年以内 (5年以内)
農業改良資金 (農業者向け)	エコファーマー、六次産業化法の認定を受けた農業者等	【個人】5,000万円 【法人・団体】1億5,000万円	12年以内 (3年、5年以内)
経営体育成強化資金	農業を営む個人、法人・団体であって、経営改善資金計画または経営改善計画を融資機関に提出された方、認定新規就農者、農業参入法人等	負担額の80%、ただし 【個人・農業参入法人】 1億5,000万円、 【法人・団体】5億円	25年以内 (3年以内)
スーパーW資金	認定農業者が加工・販売などを行うために設立した法人(アグリビジネス法人)	事業費の80%以内 ※一部の場合、事業費の90%以内となります。	設備資金： 25年以内 (5年以内) 関連費用： 10年以内 (3年以内)
畜産経営環境調和推進資金	「処理高度化施設整備計画」について、都道府県知事の認定を受けた畜産業(畜種は牛、豚、鶏、馬に限る)を営む個人・法人「共同利用施設整備計画」について、都道府県知事の認定を受けた農業協同組合、農業協同組合連合会、畜産業を営む方が組織する5割法人・団体	負担額の80%(特認90%)または 【個人】3,500万円 (特認1億2,000万円) 【法人】7,000万円 (特認4億円)	20年以内 (3年以内)

※参考：日本政策金融公庫HP <https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/>

※その他、農協等が扱う「農業近代化資金」等もあります。

※農業制度資金の活用につきましては、内容等が変更されている場合もありますので御相談ください。

NEW FACE

伊方町の新規就農者を紹介!!

よねだ ゆきひろ
米田 幸弘 さん

- 昭和57年4月14日生まれ
- 住 所：伊方町大浜
- 就農年：平成27年4月就農



自分の性格	社交的なオタク
就農のきっかけ	親の病気がきっかけではありませんでしたが、昔から物を作ることが好きで自分で考え行動する農業をしてみたいと思ったから。
農業に対するイメージ	やったらやっただけのことが返ってくる?
今後の目標	新しい技術・知識を取り入れながら、高品質な美味しいみかん作りをする。
伊方町に望むこと	若い世代がたくさん残れるような、仕事場・住居の確保。



集落活動による優良園地の確保、担い手の育成

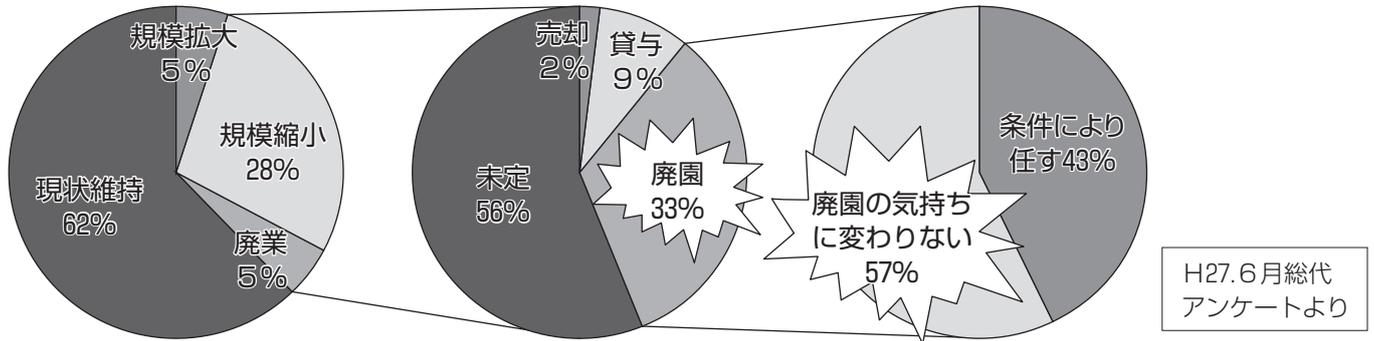


～みんなで考えましょう！～

1. 共選等による優良園地の明確化

担い手の減少・高齢化、農地面積の減少が進む中、産地生産量を守っていくことは、今後の重点課題です。すでに農地の受け手が見つかりにくい状況になっている中で、今後の農地利用の方向性を共有しておかなければ、放任園が点在する等、産地生産量の低下がますます懸念されます。産地として農地を守っていくという意識を現役の方はもちろん、引退される方も持っていただく必要があります。

5年後の農業経営 縮小・廃業時の農地の考え方 JA・行政から農地相談があった場合



2. 集落活動による担い手の育成

西宇和みかん支援隊では、担い手・労働力確保の各対策に取り組んでいます。担い手の確保については、1ターン等による就農希望者を募るため、東京や大阪で行われる新・農業人フェアに出展し、就農先選択のきっかけとしてホームステイによる短期の農家体験の受入れと就農定着先選定のための農業体験の実施を進めています。

農業体験の受入れ

- 短期ホームステイ型（現在10件登録）

現地見学の位置づけで、初心者・農業経験のない者が、時期ごとの農作業をホームステイで体験することで、農家生活を体験。

- 日帰り作業体験型（移住先行型）⇒「就農サポーター」

就農意向が決まり先行して移住した者等が、就農定着先の集落を決めるために各地の農業を体験



受入農家募集中!!

3. 集落内の空家をバイター宿舍として活用構想

労働力不足が進む中、近隣求職者の紹介事業では、農家の要望の1割も満たせない状況です。今後は人のいる所からアルバイトを受入れる必要があり、並行して宿泊等の外部から人を受入れる体制整備を進める必要があります。

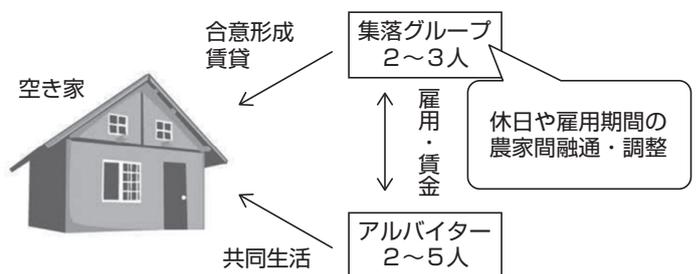
アルバイトの受入れ

- みかんの里宿泊・合宿施設「マンダリン」の活用

28年度工事により1、2階フル操業となります。

- 集落内の空家活用

農家グループが空家を借上げる等して、アルバイトの共同生活宿舍として活用。



I ターン就農者受入れフロー

① 支援隊による就農相談会

② 短期の農業体験



まずは体験を！
かんきつ栽培を知る
西宇和という地域を知る

受入れは、4～10日程度
ホームステイで
農作業体験の受入

西宇和で就農しよう！！
でも、どの集落がいい？
もう少し西宇和を知りたい
往復の交通費もかかる

③ 就農サポーターに相談

実際に農家の下で作業したり、
話を聞いたりして、就農先集落
を決める期間(1カ月程度)が
必要

就農サポーターが
最高の相談役

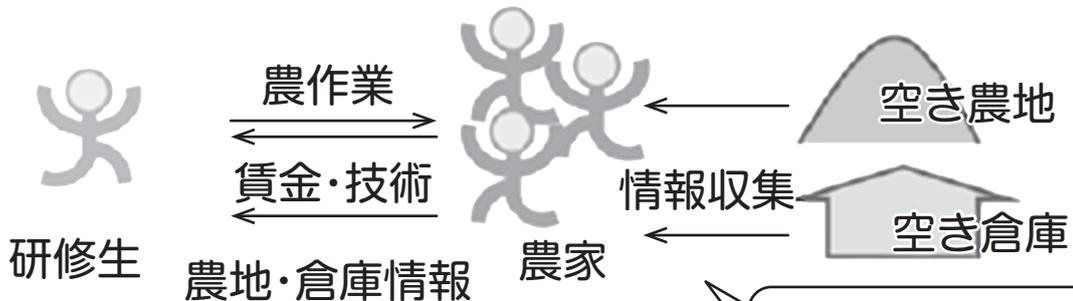


引っ越しているんな
農家の話を聞いて
から決めよう！！



④ 集落での技術研修

就農を目指し、チーム内の各農家を日替巡回して技術研修



就農時の情報斡旋
信頼関係の構築

⑤ 就農

担い手の定着には集落・農家の協力が不可欠です。